



第67回 定時総会開催

(一社)日本道路建設業協会中部支部は5月29日、名古屋市東区のメルパルク名古屋で第67回定時総会を開きました。議事では14年度の事業報告・決算および役員改選などを可決承認し、15年度の事業計画と収支予算などを報告しました。役員改選では、支部長に青野俊弘東亜道路工業中部支社長、幹事長に齊藤克巳大林道路中部支店長らを選出し、承認いたしました。

議事に先立ち本部役員出席のもと、協会表彰が行われ、技能社員表彰者には三好武夫会長から表彰状が授与されました。

青野支部長は「担い手3法の改正など、道路建設業を取り巻く状況は大転換期を迎えている。これに対応するとともに、道路網の整備推進、道路機能の向上、安全・環境・長寿

命に優れた舗装技術・新工法の開発などに取り組み、トータルコストで良いものを提供していきたい」と述べ、一丸となって時代の変化に対応しようと呼びかけました。

本部から参加した三好会長は「若手技術・技能者の入職促進と定着化が喫緊の課題。協会創立70周年を迎える今年、明るい未来がある道路建設業を目指し中期ビジョンをまとめた。課題に対応し、業界の健全な発展を図り、社会的使命を果たしていく」と語りました。

報告された15年度計画には、基本方針として▽道路整備の推進▽道路建設技術の向上▽道路建設業の健全な発展—の3点を明示し、発注者らとの意見交換、講習・研修会、講演会の開催、安全パトロールなどを盛り込みました。



技能社員表彰受賞者

